

「りのいずむ」とは…

リノ・ハピア（リノベーションを通じてハッピーに！という思いのこもった社名）とイズム（流儀）から作った造語。リノ・ハピアらしさを詰め込んだ社外報です。

## 実生木撤去工事

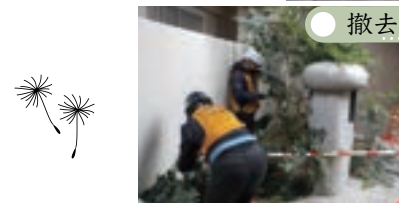
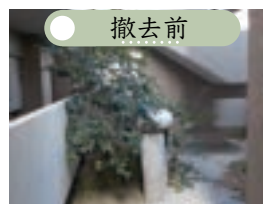
マンション共用部の管理維持についてご紹介します。共用部にいつの間にか実生木が生えてきていたことはありませんか？実生木とは、実（種）から生長してきた木のことを指します。種子は、風に乗って飛ばされたり、実を食べた鳥の糞よって運ばれてきたりしますが、実（種）から増える木の多くは、繁殖力が強く、生長の早いものが多いです。

小さいうちは根から綺麗に抜くことができますが、大きくなると根から抜くことが手作業では困難になり、重機が必要になったり、地際で伐採するしかなくなります。残った根からは再び芽が出てくることもあり、その都度伐採しなければならないので、費用と手間が非常に掛かります。

今回の工事は、ネズミモチという木が3本、エントランス脇の中庭にあるオブジェを覆うように、2m以上に生長し、共用廊下にまで枝が伸びてしまっている状態でした。中庭が壁で囲われているため重機を入れ

て伐採することができず、やむなく地際で伐採、切り口に木や草根を枯らす薬液を塗布をしました。

工事後は、オブジェが見やすく目立つようになり、廊下も少し明るくなりました。生垣や植込みの間、駐車場廻りなど、植えた覚えのない前にはなかったはずのところから、見慣れない木が生えてきた場合は放置せず、小さいうちに見つけ次第除去・撤去をおすすめします。（多摩支店）



## ゴミ置場棚の新設工事

神奈川支店管轄の民間マンション大規模修繕工事にて、ゴミ置場に分別ケースを置くための棚を設置した事例をご紹介します。

元々はゴミを分別するための樹脂製ケースがゴミ置場の床に直置きで使用されていました。そのため、ゴミ置場内のスペースが狭く使い勝手が悪いと相談をいただきました。

そこで、ゴミ置場内の広さや使用する樹脂製ケースの寸法、清掃時に水を使用するなどの条件を加味し、特注で棚を設置。スペースを有効活用できるようになり、今まで置けなかった荷物なども置けるようになりました。また、今回は棚部分にパンチングメタルといわれる小さな穴の開いた板を採用し、清掃時の水が溜まらないよう配慮しました。

弊社は、外壁の補修や塗装だけでなく、今回のよう

な金物工事も対応可能ですので、老朽化や使い勝手が悪いなどお困りの事がございましたら相談いただけたらと思います。（神奈川支店）



水平器を使って棚の角度を調整します！

## 玄関扉調査

現在、本社工事部の管轄で施工している現場では、耐震補強工事が完了し、次に外壁修繕工事へと移行しました。そこで今回は、玄関扉・枠塗装工事に伴う、玄関扉開閉調査をご紹介します。

施工している建物は築年数が長く、老朽化している玄関扉が多数ありました。その中でも、玄関扉の重みで経年劣化して丁番(ちょうばん)が傾いている部屋がいくつか存在します。そのような状態の部屋を見落とさないために、玄関扉・枠を事前に調査し、一軒一軒状態を確認していきます。

玄関枠が歪んでいる部屋があった場合には、『丁番おこし』という工具を用いて丁番を直していきます。丁番を直すことによって、塗装工事を行った際の僅かな塗膜厚による玄関扉が閉まらない問題を、事前に解決することができました。

ほんの少しの変化ではありますが、居住者様が5年、10年と安心して住み続けられる、そして、ここに住み続けたいと思えるマンションに大規模修繕工事を通して生まれ変わらせていきます。(本社工事部)

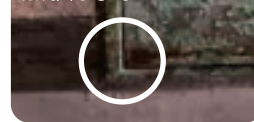


丁番



丁番おこし

ずれを塗装前に点検します



経年劣化で歪んだ丁番を『丁番おこし』で直します！先端が丸くなっているのをその部分を丁番にはめ込みます

## 耐震工事

1981年(昭和56年)以前に建設された建物は、建築基準法に定める耐震基準が強化される前のいわゆる『旧耐震強度』(震度5程度の地震に耐えられる強度)により建設されて、耐震性の不十分な建物が多く存在します。

『新耐震強度』は、震度6~7程度の地震に耐えられるよう基準が変わり、阪神大震災以降1995年(平成7年)から耐震改修促進法ができてから、だいぶ耐震工事が進みましたが、まだ耐震工事をされていない建物があるのではないのでしょうか。

現在、本社工事部の管轄で耐震工事を行っていますが、その建物も『旧耐震強度』基準の年代に建てられた物件です。工事期間中、度々地震が発生することがありました。居住者様も耐震に不安を覚えたと思います。

耐震工事をする事で、さらに安心して暮らしていただけるのではないのでしょうか。ぜひ皆様もご検討ください。(本社工事部)



建物を元気に、人を笑顔にする

# リノ・ハピア株式会社

お問い合わせ先

リノ・ハピア 検索

本社  
〒145-0062 東京都大田区北千束 3-1-3(渡辺ビル)  
TEL: 03-3748-4021 FAX: 03-3748-4022

☎: 0120-270451  
URL: <http://www.reno-happia.co.jp/>  
MAIL: [info@reno-happia.co.jp](mailto:info@reno-happia.co.jp)

城東支店 TEL: 03-3625-7861  
〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-10-11(ヤマキドノール 1F)  
多摩支店 TEL: 0423-60-1333  
〒183-0027 東京都府中市本町 2-7-26  
神奈川支店 TEL: 045-620-3831  
〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕 3-4-20  
埼玉支店 TEL: 048-242-5404  
〒335-0004 埼玉県蕨市中央 3-7-1 ジェイホームビル 4階  
千葉支店 TEL: 043-275-4373  
〒262-0023 千葉県市花見川区検見川町 5-273(清建ビル 2F)  
城北支店 TEL: 03-3852-3818  
〒120-0013 東京都足立区弘道 1-31-10

- 工事業業
- ◆仮設工事
  - ◆下地補修工事
  - ◆外壁剥離・剥落防止工事
  - ◆塗装工事
  - ◆防水工事
  - ◆耐震補強工事
  - ◆ドア・サッシ交換工事
  - ◆外断熱工事

## 編集後記

5月に入りました。夏日といわれる日もあれば、まだ朝晩は寒い日も多く、日本の春も年々と変わってきているようです。

先日、休憩時間に本社の屋上に行くと、社員がすやすやと眠っていました。日差しが暖かく風が気持ち良いので寝てしまったとのことでした。夏はBBQ、冬はおでん、春はお昼寝に最適な本社のテラスです！

## <読者アンケート>

ご回答いただいた方  
全員にもれなく500円分の  
クオカードをプレゼント！  
※初回のみ

